

給付型奨学金を創設

八学大17年度から適用

八戸学院大は同大(看護学科を除く)に入学する高校生を対象にした給付型の奨学金制度を創設した。急速に進む少子化と若者の県外流出を背景に、地元に残

る人材を同大で育成する狙いだ。2017年度入学者から適用される。

1日、八戸市美保野の大谷学内で開かれた学校法人光星学院の辞令交付式で大谷

真樹学長が明らかにした。

名称は「地域みらい人材育成給付型奨学金」。ビジ

ネス学部は年間27万円、健康医療学部は年間28万円の教育費を助成。16年度は8510人を対象に、八戸市の聖ウルスラ学院高など同大が指定する県内の高校から

公募する。申請には校長の推薦が必要となる。

また、同大生に向けた「給付型語学研修奨学金」も新設。留学費用の一部を補助するとして、16年度は5人程度を予定。今夏の短期留学に向けて開始する。

(玉川那津美)